

3M™ 漏水センサーS-1F（一般用途向け）

取扱説明書

漏水センサーをご使用になる前に、本書を必ずお読み下さい。

<使用上の注意>

- ・センサーを漏水検知以外の目的に使用しないで下さい。
- ・センサーを配管に直付けしないで下さい。
（配管への直付け布設には、配管専用センサー（型番：S-1FP）を使用して下さい）
- ・多量の結露が発生する場所への布設は避けて下さい。
- ・センサーは1検知器当たり100m以内でご使用下さい。
また、ジャンパー線（検知器とセンサーをつなぐ線）を使用する場合は、センサーを含めて1検知器当たり150m以内でご使用下さい。
- ・外部電磁誘導を受け易いところでは、ジャンパー線はシールドタイプのものを使用して下さい。
- ・使用前に「漏水検知システム解説書」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- ・本センサーは、当社製アウトレット型漏水検知器（WR-B1）と組み合わせて使用できません。
- ・本センサーは、当社製漏水検知器の特性に合わせて設計されています。（WR-B1は除く）
他社製漏水検知器と組み合わせて使用するときには、漏水検知器メーカーに確認の上、センサー布設後に必ず動作確認を行って下さい。
- ・コンクリートの素肌面は、水を吸収します。単位時間当りの漏水量が吸収量より少ない時は、漏水が検知できませんので、防水処理をおすすめします。

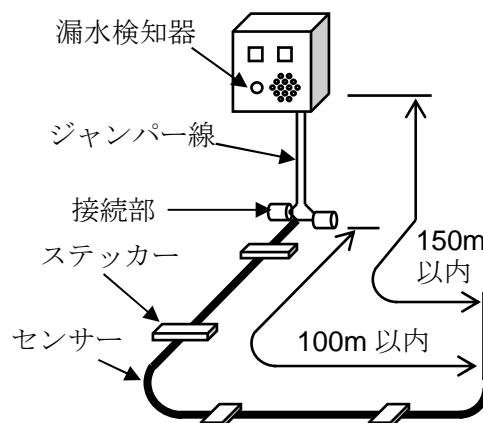


図1 システム構成図

1. センサーの布設について

センサーが床面に密着するようにステッカーSS-6で固定してください。

なお、ステッカーSS-6は出来るだけセンサーの電極部を避けて固定してください。布設後、センサーが床面から浮いていないことを確認してください。

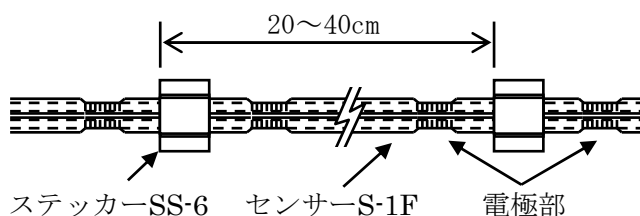


図2 センサーの固定

ご注意：

ステッカーに接着剤を併用するときは、合成ゴム、合成樹脂系の接着剤を使用してください。

なお、酢酸ビニル系接着剤（コンクリート用ボンドなど）は使用しないでください。酢酸ビニル系接着剤は吸湿性のため、誤報の原因となることがあります。

①設備まわり

漏水が発生すると思われる設備がある場所では、センサーをその設備回り、防水堤内や水受け皿内設備まわりに囲むように布設し、ステッカーで固定して下さい。（図4）

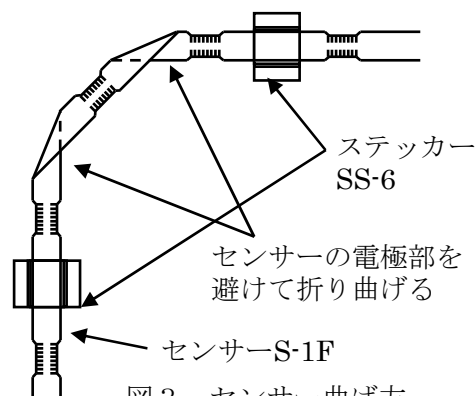


図3 センサー曲げ方

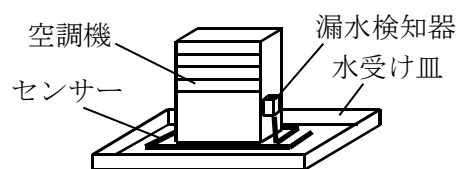


図4 設備まわり

②フリーアクセス等

天井や二重床内に配管が縦横無尽に走っている場所などで、全面にわたって検知する必要がある場合は下記の方法で行って下さい。(図5)

- ・真上階床には、はり、柱、壁の周囲に布設する。
- ・検知場所を特定し易くするために、区域毎に分割し、1区域当たり1漏水検知器(1回路)を対応させる。
(1回路当たりのセンサー長を長くすれば検知区域は広がりますが、相対的に場所が特定しにくくなります。したがって、1区域25~30m²を目安に区域分割することをおすすめします)
- ・通常床面には傾斜があるので、区域毎に床面の傾斜方向に直角にセンサーを布設する。(図6)
(このセンサー間のピッチは2m以内を目安として下さい)

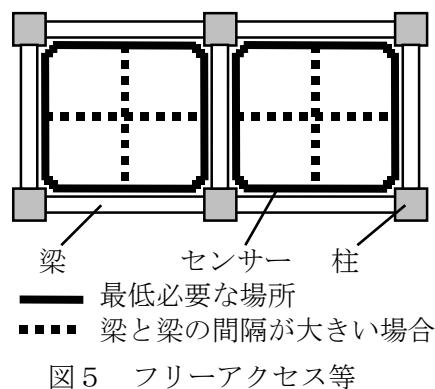


図5 フリーアクセス等

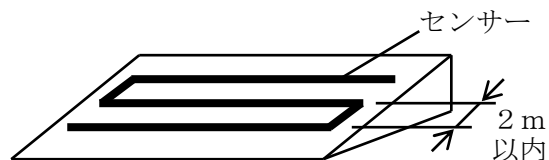


図6 布設面が傾斜している場合

2. センサーの接続方法

センサー同士または接続ケーブル(0.5[□]以上)との接続は絶縁被覆付閉端接続子CE1(0.5~1.75[□])を使用して下さい。(図7)

圧着後センサーを引っ張り、圧着が確実であるか、確認して下さい。
(S-1Fの芯線は0.3mm×1.5mmの平角線です)

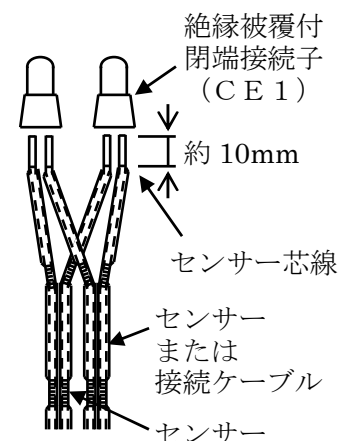


図7 センサーの接続

3. 終端キットについて

漏水検知器WR-NAまたはWR-M8にS-1Fセンサーを接続するときには、各センサーの末端に自己診断用終端キット(TR-820)を接続して下さい。(図8)

注：終端キットを接続しないと自己診断機能は働きません。

4. 保守について

センサー布設後は、1年に1回以上の頻度で、次のことを確認して下さい。

- ①センサーの任意の電極を導線などで短絡して、動作を確認する。
- ②実際にセンサーの電極部に水をかけて、動作を確認する。
水によるテスト後は、ウエスで水分を完全に除去して下さい。
特に重要な区間は、頻度を多くして機能確認を行って下さい。

注：定期的に保守・点検を行わなないと、万一検知器を含めた漏水検知システムに不具合が生じたときに漏水を検知できず、設備等に重大な損害を及ぼすことがあります。

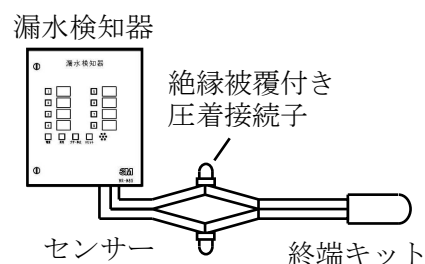


図8 終端キットの取り付け

スリーエム ジャパン株式会社

通信・電力マーケット事業部

<http://www.mmm.co.jp/electro/>

カスタマーコールセンター

製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで

0570-012-321

ナビダイヤル。市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝・年末年始は除く)